

車掌業務解消職場の現状について！ ワンマン運転拡大反対！働く職場を残そう！！

秋のダイヤ改正において、長崎・熊本・鹿児島乗務センターで、車掌業務の解消が提案されました。根拠として3・4・6両ワンマン運転拡大によるものとしています。

本部として秋のダイヤ改正は、車掌業務のほか基地の統合など多くの問題を抱え、会社へ申し入れを提出し現在交渉の段階であります。

その交渉段階の中、会社はスケジュールを優先させるあまり、5月から面談を実施し業務を継続希望しない嘱託再雇用社員には、今月までに出向か退職を迫る暴挙に出ています。

長年車掌業務に従事した社員に、誠意のない会社姿勢に怒りの申を提出して来ました。

= 主な内容 =

- ◎ 4期連続の賞与の低額回答の中、車掌業務を継続する社員に一時金の支給。
- ◎ 嘱託再雇用社員と社員へ同じ扱いを行なえ。
 - *業務を続ける嘱託再雇用社員は「寮・社宅」使用料免除。
 - *退職を希望する嘱託再雇用社員は「一時金(300万円)の支給」
- 以上、同年代でも誕生日の違いで格差が生じている。
- ◎ ・出向希望調査期間の延長を行なえ。
 - ・何らかな理由で出向解除の場合元職場へ復帰させろ。
 - *現在の出向先は、資格が必要な会社や介護施設など嘱託再雇用社員には体力的な問題や資格取得のためには時間がかかるため。
- ◎ 元職(運転士)へ復帰させろ。
 - *運転士資格者に何ら問題は無い。

— 会社回答は —

- ◇ 募集期間の中で区切りを付けた。(社員と嘱託再雇用社員)
- ◇ 会社のスケジュールで行う。(面談等)
- ◇ 出向解除等の復帰は、労働協約上で判断する。(嘱託再雇用社員の年齢)
- ◇ 運転士復帰は、運転士の要員が不足していないため改めて教育しない。

会社は社員へねぎらう気持ちも無いのか！

